

● 第三世代7速+リバースDCT※1(2)

第三世代DCTの特徴は以下となります。

機能追加 微速前後進機能(ウォーキングスピードモード)

ゴールドウイングに搭載する第三世代DCTでは、そのトランスミッション構造を活かしてコンパクトにリバース機構を組み込んだ微速前後進機能(ウォーキングスピードモード)を採用しました。従来ではモーター駆動による電動リバースのみの機能であったため、車両切り返し時にはR⇔N⇔Lowの操作を繰り返す必要がありました。これに対し第三世代DCTでは、エンジン駆動力と電子制御クラッチを使うことで、左手ハンドルスイッチの+ボタン、-ボタン操作だけで微速前後進を可能とし、切り返しや駐車場等、低速での取回しがよりスマートに行えます。

このDCTの構造を利用したリバースシステムは他に例のない独自技術※2です。2重管構造のメインシャフトの内、偶数段につながっているアウターメインシャフトがカウンターシャフト上のギアを介しチェーンでインナーメインシャフトとつながる構造とすることで、アウターメインシャフトにカウンターシャフトを逆転させるリバースアイドルシャフトの役割を兼ねさせました。これによりリバースアイドルシャフトを必要としない軽量コンパクトな構造のリバースシステムを実現しました。

微速前後進(ウォーキングスピードモード)作動時には、DCTの2つのクラッチを活かし、#1クラッチで後進し、#2クラッチで前進することを可能としたことでギアの切替えなくクラッチ制御のみで微速前後進を実現しました。さらに、スロットルパイワイヤシステム(別項)によりエンジン回転数を一定に保ちながらクラッチ容量を緻密に制御することで速度をコントロールし、様々なシチュエーションにおける安心の車体取回しを可能としています。

※1. Gold Wing Tour Dual Clutch Transmission(AIRBAG)

※2. Honda調べ 2018年1月時点

■DCT ウォーキングスピードモード機構イメージ図

